

## 第4回地域国際化推進検討委員会議事要旨

1 日 時 平成21年1月30日(金) 10:30～11:30

2 場 所 都庁第一本庁舎33階 特別会議室N2

### 3 出席者

【委員】山脇委員長、金副委員長、杉澤委員、関口委員、丹委員、陸委員

【東京都】秋山生活文化スポーツ局長、平林都民生活部長、滝島市民活動担当副参事、赤木総務局総合防災部震災対策担当課長

### 4 会議要旨

(1) 答申(案)について

答申(案)について

(委員長指示に基づき事務局から説明)

答申(案)了承

委員長から生活文化スポーツ局長へ答申を手交

(2) 意見交換

#### 【委員感想・意見】

役所が開催するこのような会議では、今まで参加者があまり本音を言わず、事務局がほとんどの仕事を行うことが多かったので、半分諦めながら参加したが、今回は参加した委員の皆さんが非常に活発に、本音で発言していたので、久しぶりにいい会議に参加したと思っている。

会議の回を重ねるたびに、現状と課題がこんなに増えたのだと実感する。話し合うことで、解決策を見出すことができるのがうれしく思う。外国人の防災対策に関しては、効果的で実践的な対策ができると確信している。

これまでの会議で一度も議論されていないが、防災食・非常食について、外国人にはどうしても食べられないものがあることを話しておきたい。イスラム教徒は豚肉や豚肉由来の食品は食べられない。また、イスラム教の中でも特に敬虔な教徒の人は、食べていいとされる鶏肉・羊肉・牛肉さえもハラールミートと言われるイスラム教に則ってお祈りしてから加工される肉以外は絶対に口にしない。以前、国際交流のお祭りで防災の非常食の炊き出しをしていた際に、炊き込みご飯の中に豚肉が入っていることに気付いた。また、参加した外国人の人から豚肉が含まれるかを聞かれた。イスラム教の人にとっては妥協できない問題なので、可能であれば実態を伝え、対策を考えていただきたい。

今回の委員会では、委員全員が今、本当に災害が起きたらどうなるのかという不安や危機感を共有していたので、議論が深まったのだと思う。この答申には私たち委員の希望みたいなものがこめられていると思っているし、東京都の方々がそれを受け止めてくれたと思っている。

ネットワークの強化という部分で、きちんと意見を反映していただいた。ネットワークは各地域に主体的に動ける組織や人をどう配置していくかが対策の要なので、答申に内容が盛り込まれたことは、今後の体制づくりの基盤をつくってもらったと思う。

提言に、都は区市町村や民間団体のコーディネーター役としてネットワークの中で主導的な役割を担うとあるが、このコーディネーターがどういう役割や機能を担うのかを、今後検討してもらいたい。

提言の「地域のネットワークを活用した外国人支援」において、外国人コミュニティや外国人キーパーソンと連携するとあるが、外国人キーパーソンとのネットワークの構築のためには会議の開催を行うだけでなく、多文化ソーシャルワーカーのような人材が必要となる。こうした人材養成・研修をぜひ検討していただきたい。

今回の委員会に参加したことで、自分自身の中の防災意識に目覚めた。私は能力に限りのがあるので、外国人のキーパーソンにはなれないと思うが、自分の周りの外国人の防災意識を自分の経験を通して一緒に高めていきたいと思う。

### 【委員長のまとめ】

今回の答申で一番大事なのは 章の提言の部分であり、できるだけ具体的に記述したので、ぜひ今後の施策の一つでも多く実現していただきたい。

最近話題になっている新型インフルエンザの問題も、本当にいつ来てもおかしくないと言われている。今回の答申の趣旨を生かして、早急に取組んでもらいたい。

今回は防災の答申ではあるが、答申全体を通じて、平常時からのネットワークづくりや、日本人と外国人住民の関係づくりということが基底をなしていると思う。そうした平常時からの関係づくり、あるいは取組、支援というのは、もう少し長い視点から考えていく重要な課題であると思う。

昨年12月の都議会でも、多文化共生社会づくりに向けた取組について、知事等の答弁があったと聞いているが、今年は東京都の多文化共生元年と言えるぐらいの意気込みで、具体的なステップを踏んでもらいたい。

1月9日に、内閣府に定住外国人施策推進室という新しい組織が設置された。今年度中に定住外国人への総合的な支援策の検討もすることになっている。全国で一番外国人が多く住んでいる、そしてオリンピックを誘致しようとしている都においては、平常時からの共生社会づくりやグローバル化に対応した地域社会づくりへの取組を行うとともに、5年後、10年後を見据えた形でどのような東京都、地域社会をつくっていくのかということを示してもらいたい。